



2024年12月期 通期決算説明資料

株式会社ユカリア | 2025.2

INDEX

- 1 ユカリアグループ概要
- 2 2024年12月期 通期実績
- 3 2025年12月期 業績予想
- 4 Appendix

1 ユカリアグループ概要

1 ユカリアグループ概要

2 2024年12月期 通期実績

3 2025年12月期 業績予想

4 Appendix

VISION

ヘルスケアの産業化

Industrialization of Health Care.

MISSION

変革を通じて医療・介護のあるべき姿を実現する

Realize Ideal State of Medical and Nursing care through Transformation.

▶ ユカリアが目指す世界観

当社グループは各事業の展開を通じ、「医療/介護現場の生産性向上・最適化→医療機関/介護施設の経営安定化→患者/要介護者のQOL¹向上」という三方良しの実現を目指す

当社が社会に与える「三方良し」の世界観

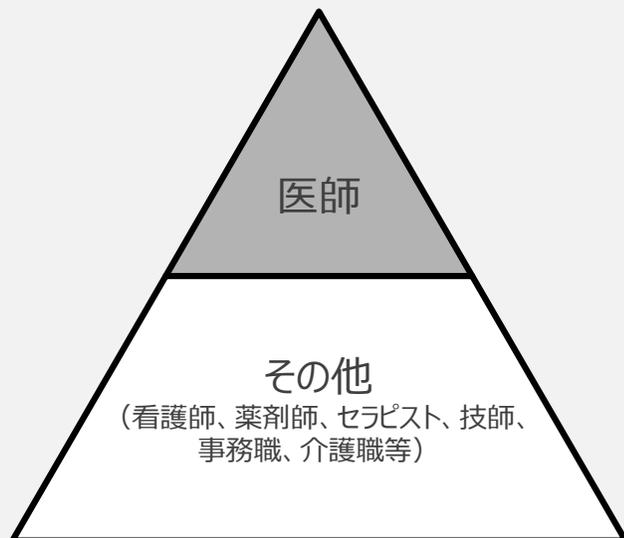


(注釈) 1. Quality of lifeの略称。ひとりひとりの人生の内容の質や社会的にみた『生活の質』のことを指し、ある人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということをも尺度としてとらえる考え方。

▶ 根幹原因の病院カルチャー変革

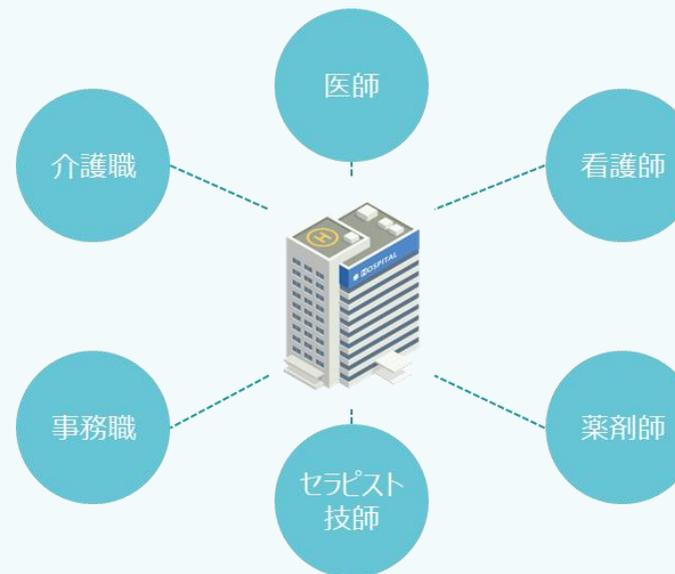
病院やヘルスケア業界が抱える根本的な課題¹である「医師を頂点とするカルチャー」を変革し、「フラットな構造」を持ち込むことで、ヘルスケア業界のイノベーション実現を図る

従来の病院内ヒエラルキー



医師を頂点とする上意下達の組織構造
経営に精通していない医師に意思決定権が一極集中するケースも

ユカリアが目指す病院組織のあるべき姿



役割の違いはあれど、フラットな関係の組織構造
組織構造のフラット化により最適な意思決定体制を構築

(注釈) 1. これまでの経営支援実績に基づく当社見解

▶ 日本のヘルスケア業界が抱える5つの課題

病院が正しく経営されないことが起点となり、社会インフラとしての機能を毀損
社会保障費増大の要因に

2 FIVE ISSUES 非効率な現場運営と 変革しないカルチャー

個別最適化・属人化が進む医療現場。医師の顔色を伺う内向き指向のカルチャー。



1 FIVE ISSUES 日本の病院の 7割超が赤字経営¹

国や自治体からの補助金を除くと7割の病院が赤字経営。継続的な運営を行う体制構築が不可欠。



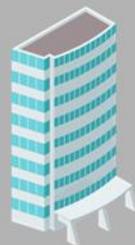
4 FIVE ISSUES 地域包括ケアシステム 構築の遅延

病床再編は進まず、超高齢社会に対応した地域連携体制の構築は不十分。医療資源の最適配置には程遠い。



3 FIVE ISSUES プロダクトアウト思考と 利益の偏重

患者起点の思考や商流に至りづらい。また、製薬企業のような「川上プレイヤー」に利益が偏重し、現場へ還元されない。



5 FIVE ISSUES 現場ニーズに即した 医療・介護 DXの不足

現場のITリテラシー不足に加え、現場で必要とされるサービスを開発できる会社も不足。



▶ イノベーションに向けた5大変革テーマ

ユカリアグループは業界を変革するべく、ヘルスケア業界の中核を担う病院が抱える課題の解決を起点に5つテーマを設定し、各種事業を展開

2 FIVE THEMES 病院運営の最適化

業務の標準化・最適化を実現。医療従事者が生き生きと働ける環境を構築。



1 FIVE THEMES 医経分離

医療と経営の分離によって、現状維持ではなく発展性・持続性のある医療法人経営を実現。



4 FIVE THEMES 地域包括モデル

医療から介護までがシームレスに繋がる連携モデルを構築。地域で最後まで高齢者を支えきる環境を整備。



3 FIVE THEMES 患者起点のVBHC¹の追求

患者への付加価値を追及し、医療の質を向上。医療の質向上に尽力する病院が正当に評価される産業へ。



5 FIVE THEMES 現場に適したDX化

医療・介護業界のデジタル化を促進。医療従事者の就業体験・患者の受診体験の革新的向上を実現。

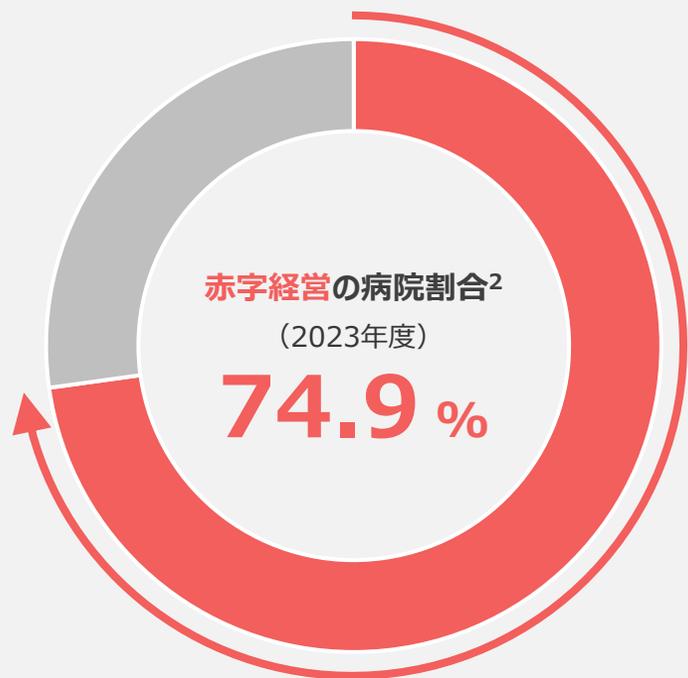


(注釈) 1. Value Based Healthcareの略称。医療行為における評価基準を、従来のように安全性・コスト・効果といった医療従事者目線での評価だけではなく、患者にとっての価値基準を重視するという考え方。

▶ 市場機会 | 当社ターゲット先の事業環境

緊急融資の返済や耐震化・改修対応の進展により、当社のターゲット先である赤字先・資金繰り難の病院は今後も増加していく見込み

赤字経営の病院が過半



病院
(1施設あたり20床以上)
施設数¹: **8,122**



病院経営を取り巻く環境

緊急融資³の据置期間が終了し、返済開始

2025年以降の返済が進行⁴

COVID-19拡大時に実施された緊急融資の据置期間は5年以内であり、返済開始となる2025年以降は病院経営が圧迫されると予想される

耐震化・改修への対応が必要

耐震化未済の病院数／割合⁵ (2022年度)

1,660 施設／20.5%

地域毎の病床数を定める1985年医療法改正前に駆け込みで建設された病院多数

後継者不在

後継者不在の病院割合⁶ (2024年度) 経営者が60歳以上の病院割合⁷ (2022年度)

61.8%

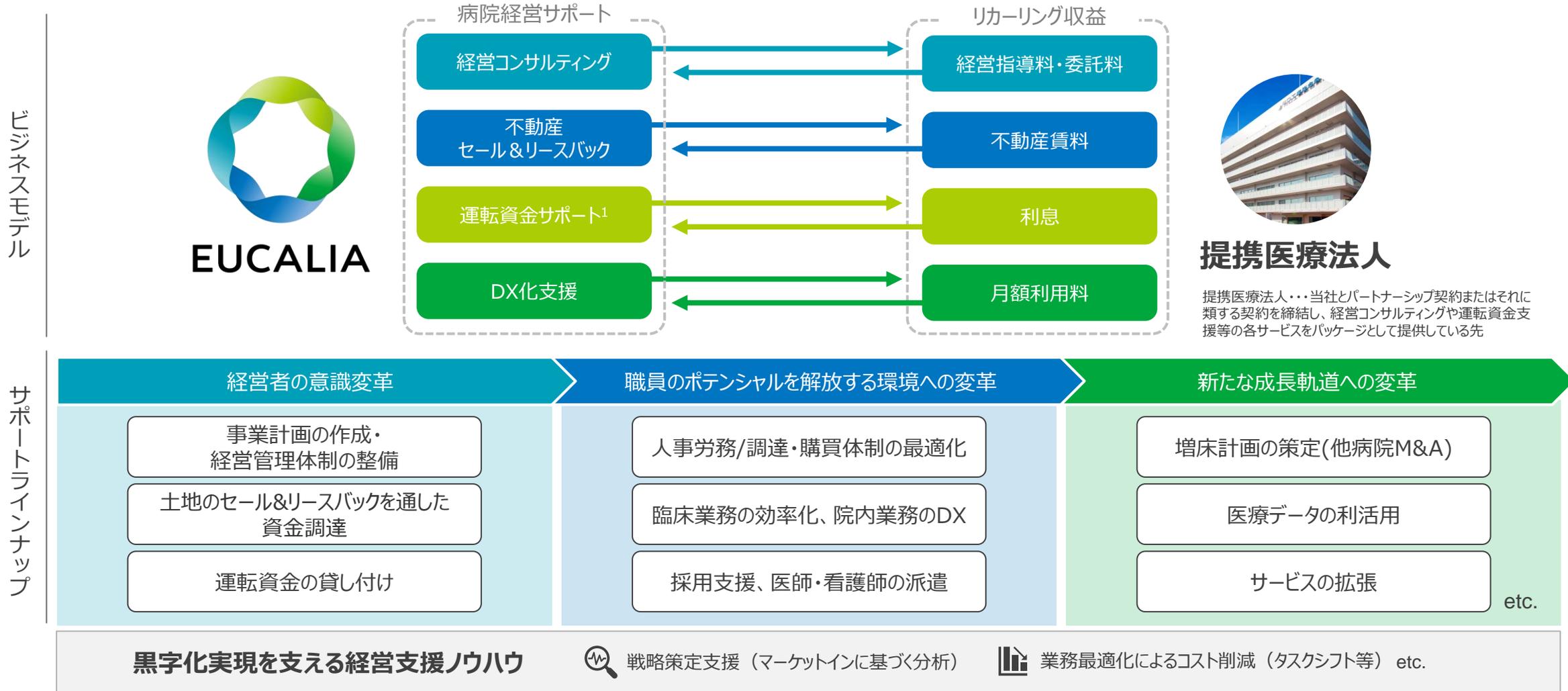
68.7%

(注釈) 1. 2023/10月初時点。出所：厚生労働省「令和6年(2024)年 医療施設(静態・動態)調査・病院報告の概況」
2. 医業利益が赤字の病院 (n= 967)。
出所：日本病院会・全日本病院協会・日本医療法人協会「2024年度 病院経営定期調査」
3. 福祉医療機構(WAM)が2020年のCOVID-19拡大時に実施した緊急融資
4. 出所：独立行政法人福祉医療機構

5. 厚生労働省「病院の耐震改修状況調査」における「一部の建物に耐震性のある病院数」「全ての建物に耐震性がない病院数」「建物の耐震性が不明である病院数」の合計。出所：厚生労働省「病院の耐震改修状況調査」
6. 出所：帝国データバンク「全国「後継者不在企業」動向調査(2024年)」
7. 出所：厚生労働省「令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況」

▶ ビジネスモデル | 医療機関に対する支援体制

赤字先、資金繰り難の病院を自社単独で支援可能な当社独自のビジネスモデルを確立



(注釈) 1. 運転資金サポートでは資金貸付のほか、診療報酬債権の買い取りによるファクタリング等を実施

▶ ビジネスモデル | 競合企業との比較

病院の多様な経営課題にソリューション提供が可能な柔軟性と、10年以上の超長期にわたって顧客の業績改善にコミットし続けることで得られる高いキャッシュフロー創出力が特徴

		 EUCALIA	コンサルティング企業 ¹	BPO企業 ¹	ファンド ¹
支援範囲 (例)	事業計画	●	●	—	●
	経営管理	●	●	—	●
	ファイナンス支援	●	—	—	●
	調達・購買の適正化	●	—	●	—
	人事・労務体制整備	●	—	●	—
	地域連携支援	●	—	—	—
	建築・建替支援	●	—	—	—
収益モデル	長期伴走型	スポット型	固定報酬型	EXIT型	
CF創出力	10年以上の超長期 ²	1年未満	1年単位	数年単位	

(注釈) 1. 一般的なコンサルティング企業、BPO企業及びファンドについての当社の分析を示したもの
2. 一部10年未満の案件も存在

▶ ユカリアグループの事業領域

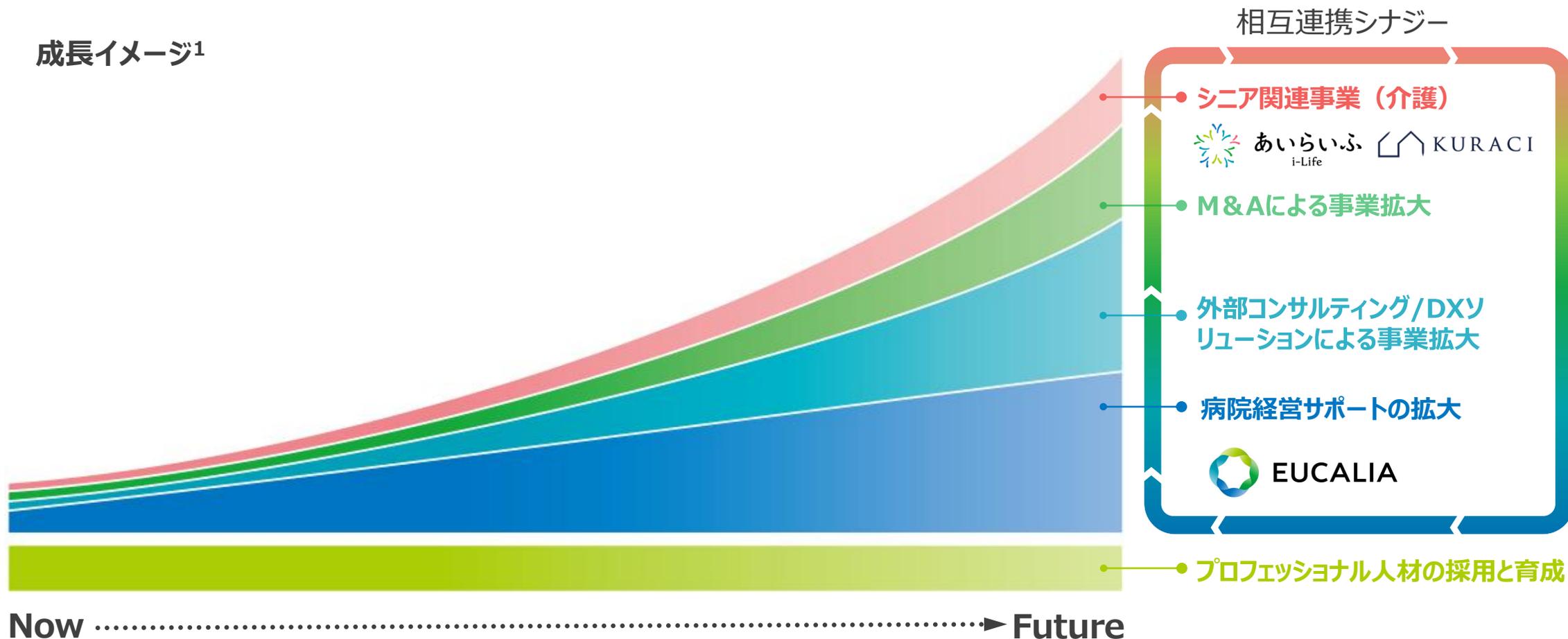
病院経営サポートを中核事業としつつ、ヘルスケアバリューチェーン上で広範に事業を展開



▶ 医療・介護現場を起点とした独自の成長戦略

医療経営総合支援事業とシニア関連事業が持つ医療・介護現場アセットをレバレッジさせることで、アセットライトなビジネスの成長や連続的なM&Aを実現し、持続的な成長を成し遂げる

成長イメージ¹



(注釈) 1. 本スライドはイメージ図であり、記載通りに売上高が推移することを保証するものではありません

2 2024年12月期 通期実績

1 ユカリアグループ概要

2 2024年12月期 通期実績

3 2025年12月期 業績予想

4 Appendix

▶ エグゼクティブサマリー

売上高・純利益ともに高い成長を実現し、業績予想水準も概ね達成

- 売上高 + 9.9%、営業利益 + 20.7%、親会社株主に帰属する当期純利益 + 92.7%
- 業績予想対比でも売上高、親会社株主に帰属する当期純利益ともに±1%未満で着地

医療経営総合支援事業が全体の業績を牽引

- 病院経営サポートにおける提携医療法人数は + 3件
- 提携先のバリューアップに伴う提携医療法人1件あたりの収益性が向上
- 提携外の医療法人に対するコンサルティングサービスの受注件数は70件まで伸長（+ 191%増）

2025年以降の成長に向けた取り組みも順調に進捗

- 売上高および各段階利益のグロースは維持しつつ、将来の成長に向けた先行投資（主として人材採用）は順調
- 既存事業のオーガニックグロースだけではなく、非連続な成長を実現すべく、M&A/資本業務提携の動きも加速

▶ 2024年12月期 連結業績

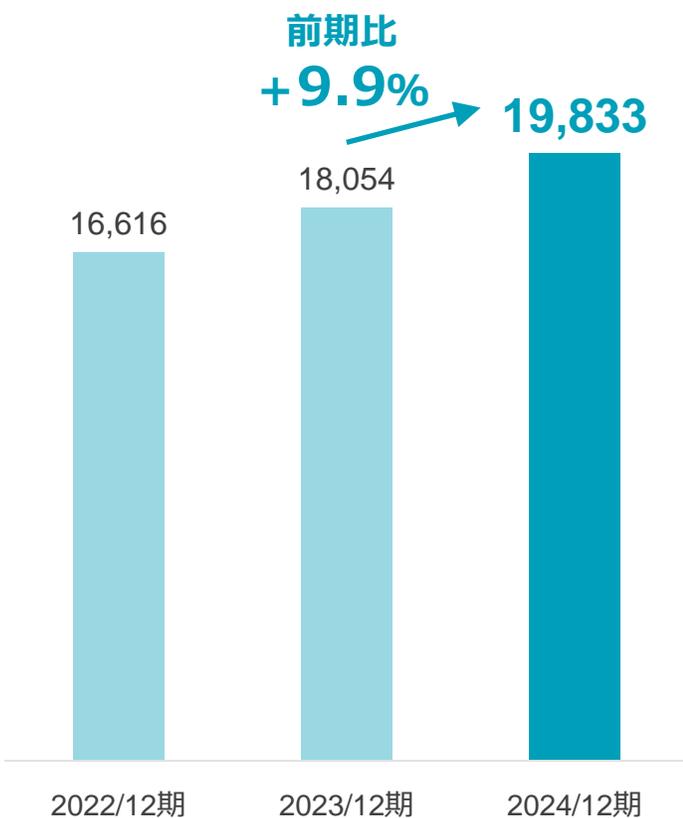
(百万円)	2023/12期	2024/12期					
		業績予想	通期実績	前期比		業績予想比	
売上高	18,054	19,863	19,833	+1,778	+9.9%	-29	-0.2%
売上総利益	7,106	8,580	8,691	+1,585	+22.3%	+111	+1.3%
Margin	39.4%	43.2%	43.8%	-	-	-	-
営業利益	1,899	2,018	2,292	+393	+20.7%	+274	+13.6%
Margin	10.5%	10.2%	11.6%	-	-	-	-
EBITDA ¹	3,061	3,313	3,599	+538	+17.6%	+286	+8.6%
Margin	17.0%	16.7%	18.1%	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,051	2,015	2,025	+974	+92.7%	+10	+0.5%
Margin	5.8%	10.1%	10.2%	-	-	-	-

(注釈) 1. EBITDA=営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 利息 (売上原価) + リース料 (売上原価)

▶ 連結業績推移（通期）

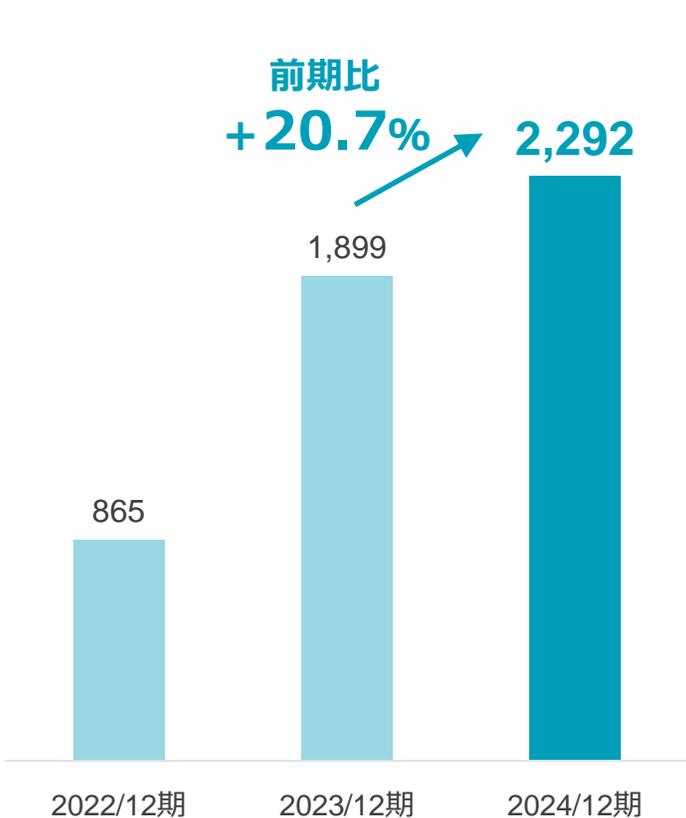
売上高

（百万円）



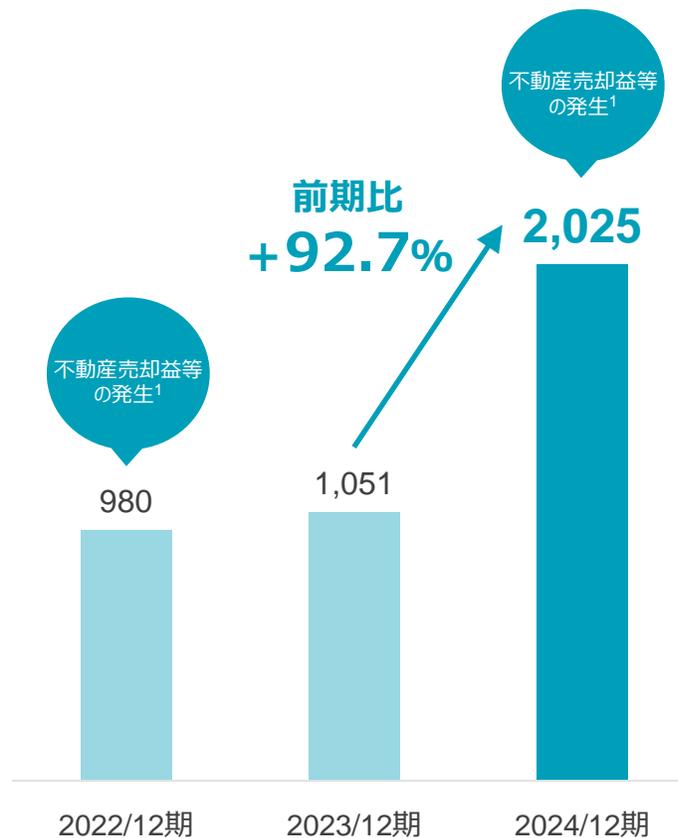
営業利益

（百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益

（百万円）

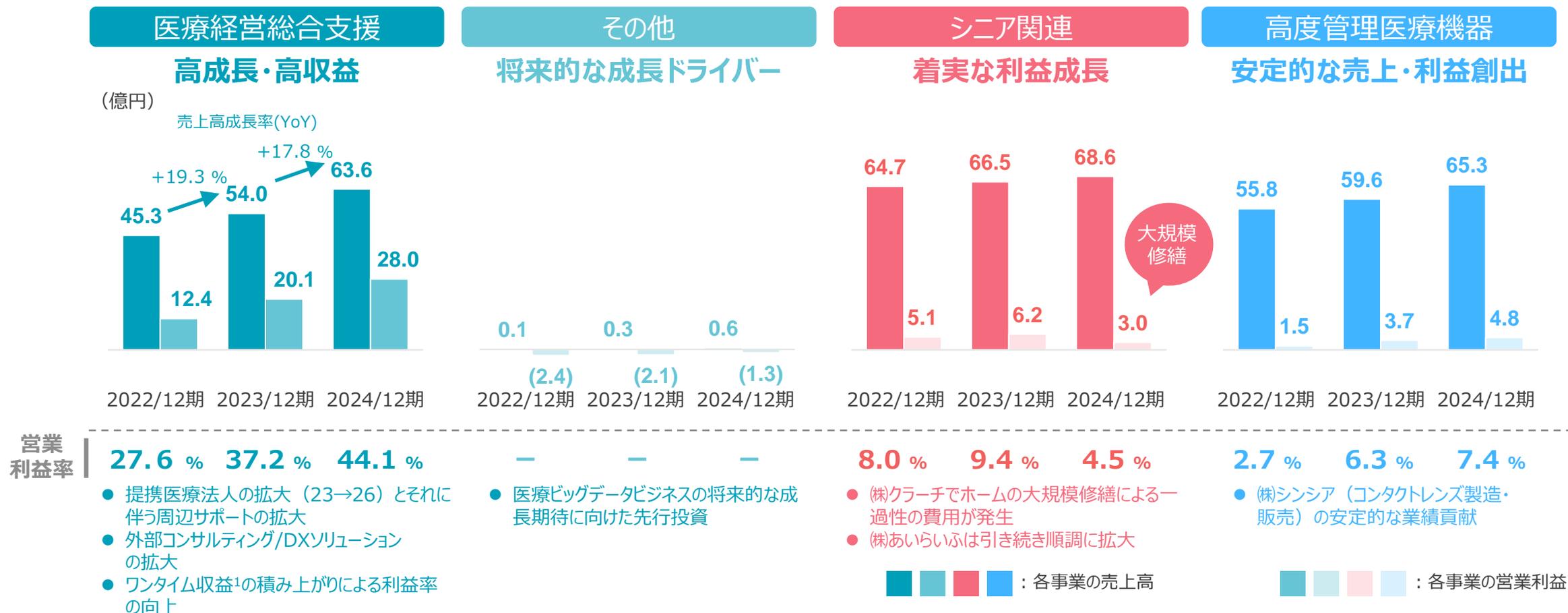


（注釈） 1. 当社とのパートナーシップ終了や提携先の経営状態の改善に伴い、当社が所有する土地や建物といった不動産等の売却（提携先による買戻し含む）が発生した為、特別利益として計上

▶ セグメント別業績推移（直近3期）

医療経営総合支援が成長性・収益性ともに高い水準を維持し、全社業績を牽引。

売上高・営業利益率（直近3期推移）



営業利益率

27.6 % 37.2 % 44.1 %

- 提携医療法人の拡大（23→26）とそれに伴う周辺サポートの拡大
- 外部コンサルティング/DXソリューションの拡大
- ワンタイム収益¹の積み上がりによる利益率の向上

- 医療ビッグデータビジネスの将来的な成長期待に向けた先行投資

8.0 % 9.4 % 4.5 %

- (株)クラッチでホームの大規模修繕による一過性の費用が発生
- (株)あいらいふは引き続き順調に拡大

2.7 % 6.3 % 7.4 %

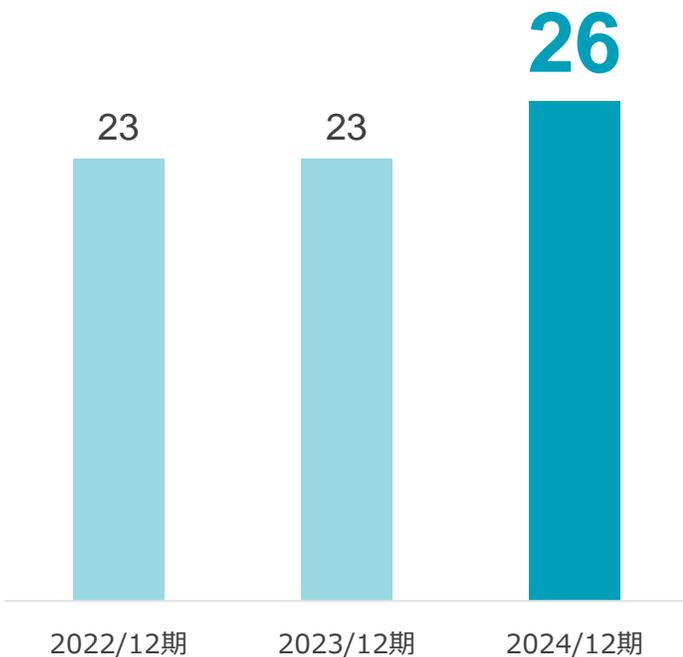
- (株)シンシア（コンタクトレンズ製造・販売）の安定的な業績貢献

(注釈) 1. 例：提携先である川口工業総合病院の社会医療法人化に伴う追加報酬、新中間病院の建替えに伴うコンストラクションマネジメント報酬等

▶ 主要セグメントハイライト - 医療経営総合支援事業 -

KPI | 提携病院数

(件)



今期トピックス

提携医療法人として、新たに3法人（3病院）との提携を開始

2024/12期は新たに以下の3法人（3病院）との提携を開始。
うち1法人は外部コンサルティングサービスのクライアントであり、そこから提携を開始するに至る。



法人・病院名	医療法人南浜会 鈴木病院	医療法人 安東病院	医療法人弘全会 芳賀中央病院
所在地	神奈川県鎌倉市	埼玉県川口市	栃木県芳賀郡
提携時期	2024年2月	2024年11月	2024年11月



外部コンサルティングニーズの取り込みも順調に加速

提携外の医療法人からの各種コンサルティング依頼が積み上がり、
+190%超の成約件数を実現。

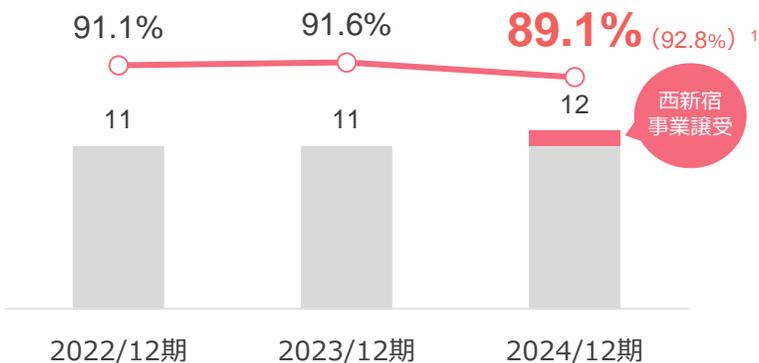
コンサルタント数も前期から8名増員し、経営分析からDX診断まで
多様なニーズへ対応可能な体制の構築を推進。



▶ 主要セグメントハイライト - シニア関連事業 -

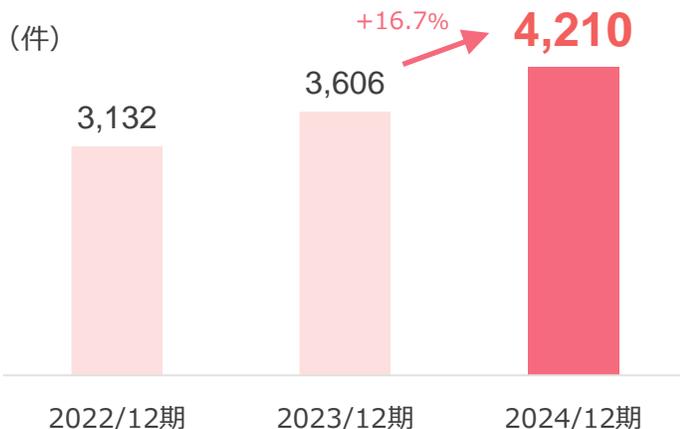
KPI | 入居率

(%)  : 運営ホーム数



KPI | 入居斡旋件数

(件)



今期トピックス

介護施設の運営



「クラッチ・ファミリア西新宿」の運営を開始

2024年4月付けで株式会社はれコーポレーションより「アスデンシア西新宿」を事業承継。「クラッチ・ファミリア西新宿」としてリブランディングし、運営を開始。



クラッチ・ファミリア西新宿

介護付き有料老人ホーム (98室)
東京都中野区弥生町1-43-12

入居相談・施設紹介



入居斡旋件数は+16%超の成長を継続

介護施設紹介サービスは2023/12期に続き、2024/12期も+16%超の成長を継続し、入居斡旋件数は4,200件超を達成。

また、2024/12期より、施設へ入居することに伴って発生する保有不動産処分（ご自宅の売却等）の悩みを支援する不動産関連サービスの展開を開始。実績が徐々に積みあがっている状況。入居相談・施設紹介に次ぐ、第2の柱としての成長を企図。

(注釈) 1. 2024/12期に事業譲受した新規ホーム（クラッチ・ファミリア西新宿（旧：アスデンシア西新宿））を除く既存11ホームのみの入居率

▶ 連結貸借対照表

上場時の資金調達により、自己資本比率は8pt向上し、高い財務健全性を維持。

単位：百万円

流動資産	負債
現預金 11,168	有利子負債 ¹ 27,217
固定資産	リース債務 7,023
土地・建物 26,039	純資産
リース資産 5,779	18,951

総資産 **60,148** 自己資本比率² **29.9%**

医療経営総合支援事業が創出する
長期安定的なキャッシュフローを基に
レバレッジ水準を適切にコントロール

主な投資領域

- ① 医療経営総合支援事業の拡大に伴う
病院の土地・建物の取得
- ② 中長期の成長へ向けた新規事業投資

(注釈) 1.有利子負債=短期借入金 + 1年以内返済予定の長期借入金 + 長期借入金 + リース債務
2. (純資産-非支配株主持分) ÷ 総資産

3 2025年12月期 業績予想

1 ユカリアグループ概要

2 2024年12月期 通期実績

3 2025年12月期 業績予想

4 Appendix

▶ 2025年12月期 連結業績予想

(百万円)	2024/12期	2025/12期		
		業績予想	前期比	
売上高	19,833	23,721	+3,888	+19.6%
売上総利益	8,691	10,571	+1,879	+21.6%
Margin	43.8%	44.6%	-	-
営業利益	2,292	2,925	+632	+27.6%
Margin	11.6%	12.3%	-	-
EBITDA ¹	3,599	4,443	+844	+23.5%
Margin	18.1%	18.7%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,025	2,608	+582	+28.7%
Margin	10.2%	11.0%	-	-

(注釈) 1. EBITDA=営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 利息(売上原価) + リース料(売上原価)

2025年12月期 事業方針

事業のオーガニックグロースを継続

医療経営総合支援事業、特に提携医療法人数の拡大を中心とした事業成長を継続。シニア関連では、(株)あいらいふにて不動産関連サービスの本格展開を開始。

プロ人材への先行投資を加速

営業利益率は維持しつつ、当社グループの強みである高度プロフェッショナル人材の採用・育成を中心に将来の成長に向けた積極的な先行投資を加速。

非連続成長にむけたM&Aを開始

非連続な成長に向けて、M&A/資本業務提携による事業ポートフォリオの積極的な拡大を開始

本業績予想に関する補足事項

- 2023/12期にグループインしたスマートスキャン株式会社を2025/12期より連結子会社化することに伴って発生する繰越欠損金の影響を織り込んでおります
- 当社が保有する提携医療法人の不動産取引における特別利益の計上やM&A(発表済みの資本業務提携4件を含む)による影響は織り込んでおりません

▶ 2025年12月期 連結業績予想（セグメント別構成）

	2024/12期 (百万円)	2025/12期			
		業績予想	前期比		
売上高	■ 医療経営総合支援	6,364	8,479	+2,115	+33.2%
	■ シニア関連	6,867	8,131	+1,264	+18.4%
	■ 高度管理医療機器	6,539	6,652	+113	+1.7%
	■ その他	63	459	+396	+624.5%
セグメント利益	■ 医療経営総合支援	2,803	3,263	+459	+16.4%
	■ シニア関連	308	619	+311	+100.6%
	■ 高度管理医療機器	484	268	-217	-44.7%
	■ その他	-139	86	+226	-

提携医療法人を中心とした拡大

提携医療法人数および外部コンサルティングサービスの増加ペースを加速

- ・ 新規提携における増加病院数は5~8件を想定
- ・ 外部コンサルティングサービスは+100%を想定

(株)あいらいふの成長と新ホームの収益寄与

- ・ (株)あいらいふは中核である入居相談・施設紹介サービスの成長に加え、不動産関連サービスなどの付帯事業の成長を想定
- ・ (株)クラーチでは2024/12期に事業譲受した新ホームが通期で収益寄与するほか、入居率の向上を想定

スマートスキャン株式会社の連結

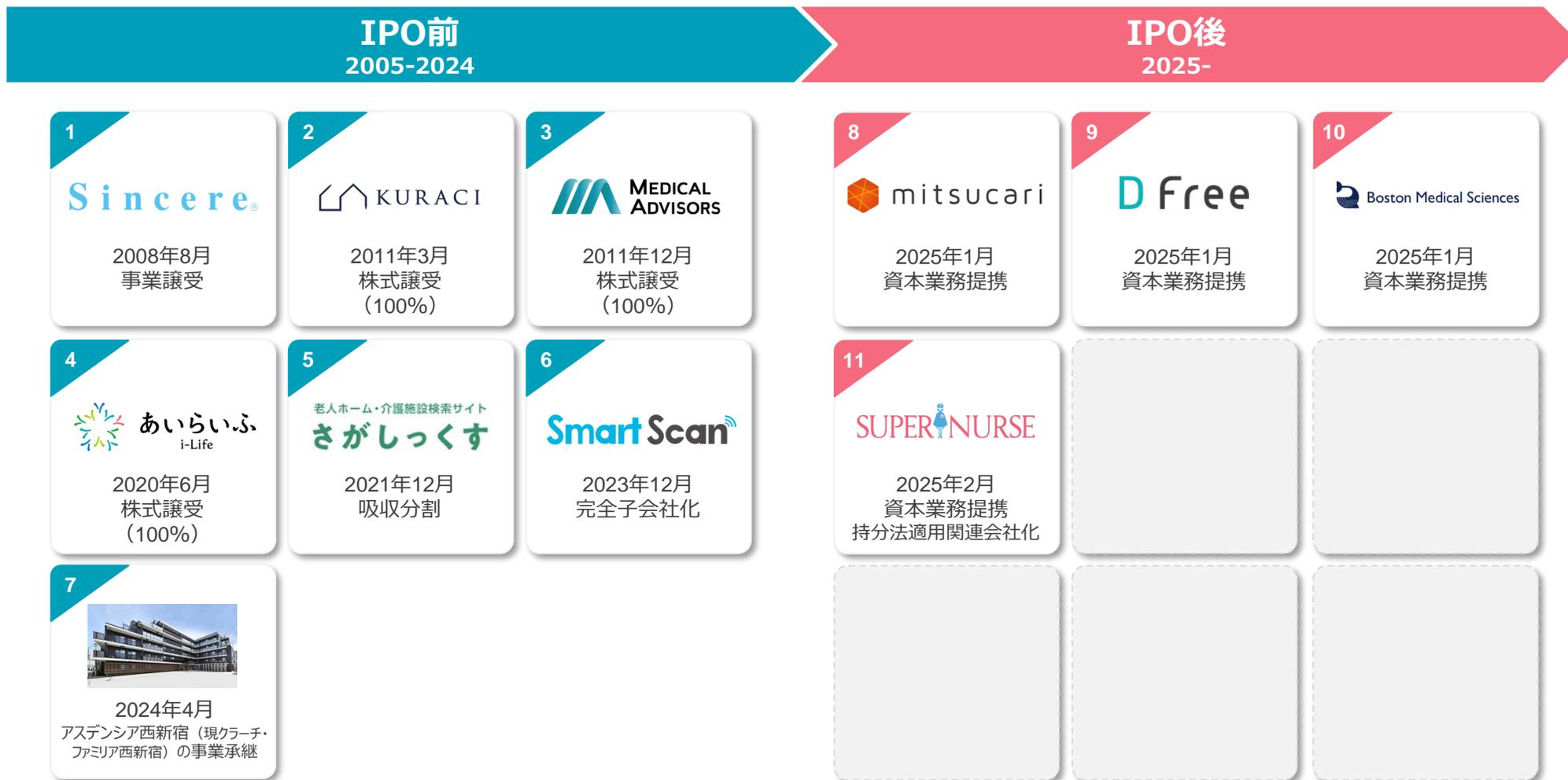
非連結子会社であったスマートスキャン(株)の連結を2025/12期より開始

一過性費用の消失

2024/12期に発生した(株)クラーチが運営するホームの大規模修繕工事の影響が消失

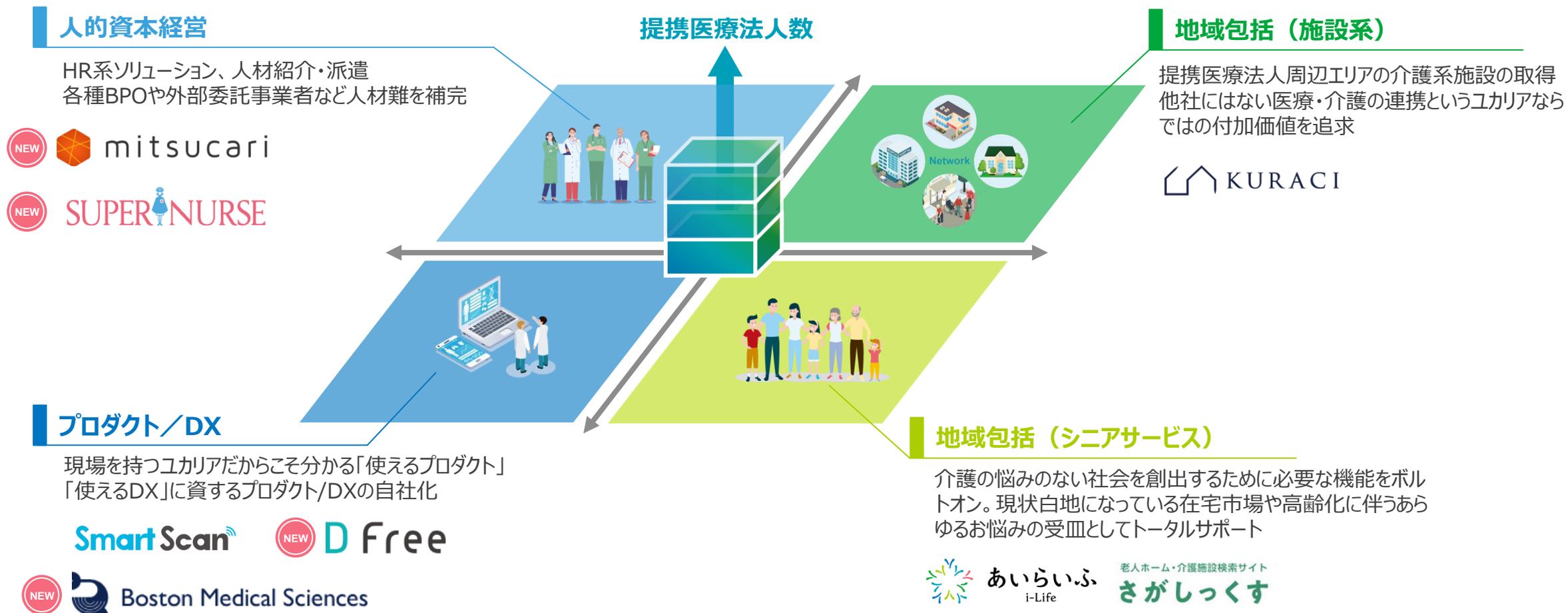
▶ M&A/資本業務提携における取組状況

今期（2025年1月以降）、4社との資本業務提携を公表



▶ 成長戦略におけるM&A/資本業務提携の方向性

提携医療法人を軸に、ヒト・プロダクト/DX・地域包括（施設＋シニアサービス）のサービスラインナップを拡充させていくことで、当社ならではの付加価値を追求



▶ 新規M&A/資本業務提携における既存事業とのシナジー

会社名	事業内容	進捗状況	シナジー領域	目指すもの
株式会社ミツカリ 	ひとりひとりの性格や相性を理解・分析して個と組織の力を最大化するHRTech「ミツカリ」の開発・運営	資本業務提携（2025/1/8公表） 発行済み株式総数の9.2%取得	医療経営総合支援 シニア関連 高度管理医療機器 その他	<ul style="list-style-type: none"> 同社の提供する人事ソリューション「適正検査サービス」を活用し、医療・介護施設の職場環境・サービスの質向上
DFree株式会社 	排泄の悩みや負担を軽減するソリューション「Dfree」の企画・開発・販売	資本業務提携（2025/1/8公表） 発行済み株式総数の4.1%取得	医療経営総合支援 シニア関連 高度管理医療機器 その他	<ul style="list-style-type: none"> 同社の提供する排尿予測デバイス「Dfree」を活用し、医療・介護施設の業務負担軽減・サービスの質向上
Boston Medical Sciences株式会社 	非侵襲的大腸がんスクリーニングAIシステムの開発と臨床展開	資本業務提携（2025/1/31公表） 発行済み株式総数の1.1%取得	医療経営総合支援 シニア関連 高度管理医療機器 その他	<ul style="list-style-type: none"> 医師及び看護師の業務効率化 誰もが気軽に大腸がん検診を受診でき、早期発見、早期治療を可能とする体制の構築
株式会社スーパーナース 	看護師紹介・派遣業務、訪問看護（在宅看護）サービス業務、健康管理・疾病管理およびその支援事業、外国人患者受入業務	資本業務提携（2025/2/14公表） 持分法適用関連会社化 発行済み株式総数の28.4%取得	医療経営総合支援 シニア関連 高度管理医療機器 その他	<ul style="list-style-type: none"> 看護師派遣専門サービスとユカリアの病院運営ノウハウを融合させ、医療・介護の現場が抱える課題の解決に寄与する新たな仕組みの構築

4 Appendix

1 ユカリアグループ概要

2 2024年12月期 通期実績

3 2025年12月期 業績予想

4 Appendix

▶ スピーカーのご紹介



代表取締役社長 / Representative Director, President, Member of the Board of Directors

1998年4月	ゴールドマン・サックス証券株式会社 入社	2020年4月	当社 入社 社長室室長
2007年6月	モルガン・スタンレー証券株式会社 マネージングディレクター	2020年5月	同社 執行役員 社長室室長
2008年8月	メリルリンチ日本証券株式会社 マネージングディレクター 債券営業本部長	2020年6月	同社 執行役員 経営企画本部長
2014年2月	株式会社ドーム ¹ 執行役員	2021年3月	同社 取締役 経営企画本部長
2016年2月	同社 取締役CFO	2024年3月	同社 代表取締役社長
2017年1月	東京大学アメリカンフットボール部 監督（現任）		
2018年3月	株式会社ドーム 取締役 常務執行役員CSO		
2018年4月	筑波大学 客員教授（現任）		

2020年4月(株)ユカリア（旧社名：キャピタルメディカ）に参画。2021年3月取締役に就任後、2024年3月より代表取締役に就任。

「医療・介護のあるべき姿」を追求し、医療機関の経営支援、高齢者施設運営、高齢者施設紹介、医療DX推進、医療ビッグデータ利活用といった事業活動を通して社会課題の解決に取り組んでいる。「ヘルスケアの産業化」を掲げ、業界に更なるイノベーションを起こし、社会的インパクトを創出すべく奮闘中。

1973年8月30日生まれ。神奈川県相模原市出身。聖光学院高校ではテニス部に所属。1992年東京大学入学と同時にアメリカンフットボール部WARRIORSに入部し、初の関東4強入りに貢献する。東京大学大学院修了後はゴールドマン・サックス証券を皮切りにモルガン・スタンレー証券マネージング・ディレクター、メリルリンチ日本証券マネージング・ディレクター債券営業本部長を歴任する。2013年(株)ドームに入社。常務取締役としてスポーツの産業化を推進する傍ら、2017年にWARRIORS監督、2018年に筑波大学客員教授に就任し、中央省庁、自民党や議員連盟の各種会議では有識者として提言を続ける。好きな食べ物はカレーとハンバーグ。190cm 150kg。

(注釈) 1. 株式会社ドームは、アンダーアーマーの日本総代理店

▶ 会社概要

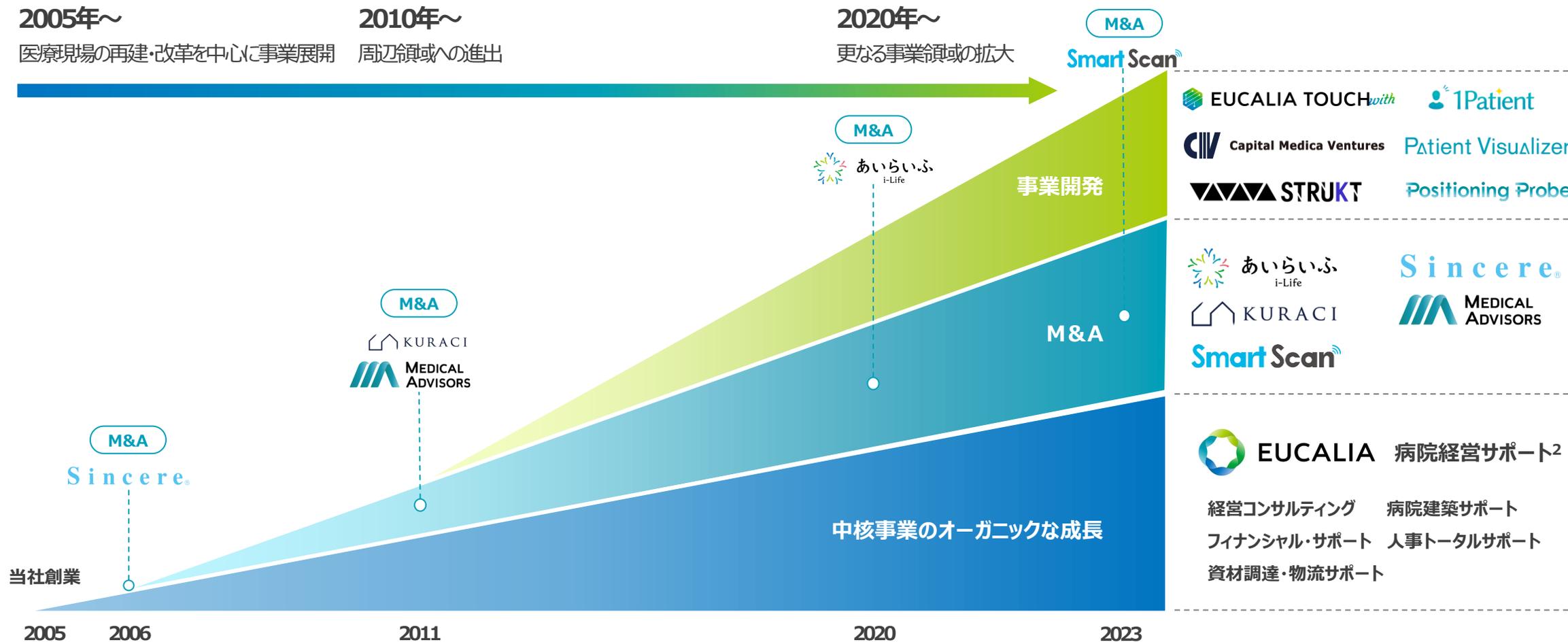
会社名	株式会社ユカリア（証券コード：286A）
設立	2005年2月14日
所在地（本社）	東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング19階
資本金等 ¹	8,534百万円（2025/2/27時点）
事業内容	医療経営総合支援事業 シニア関連事業 高度管理医療機器事業 その他事業
認定・認証	    



（注釈） 1. 資本金のほか、資本準備金と資本剰余金を含む金額

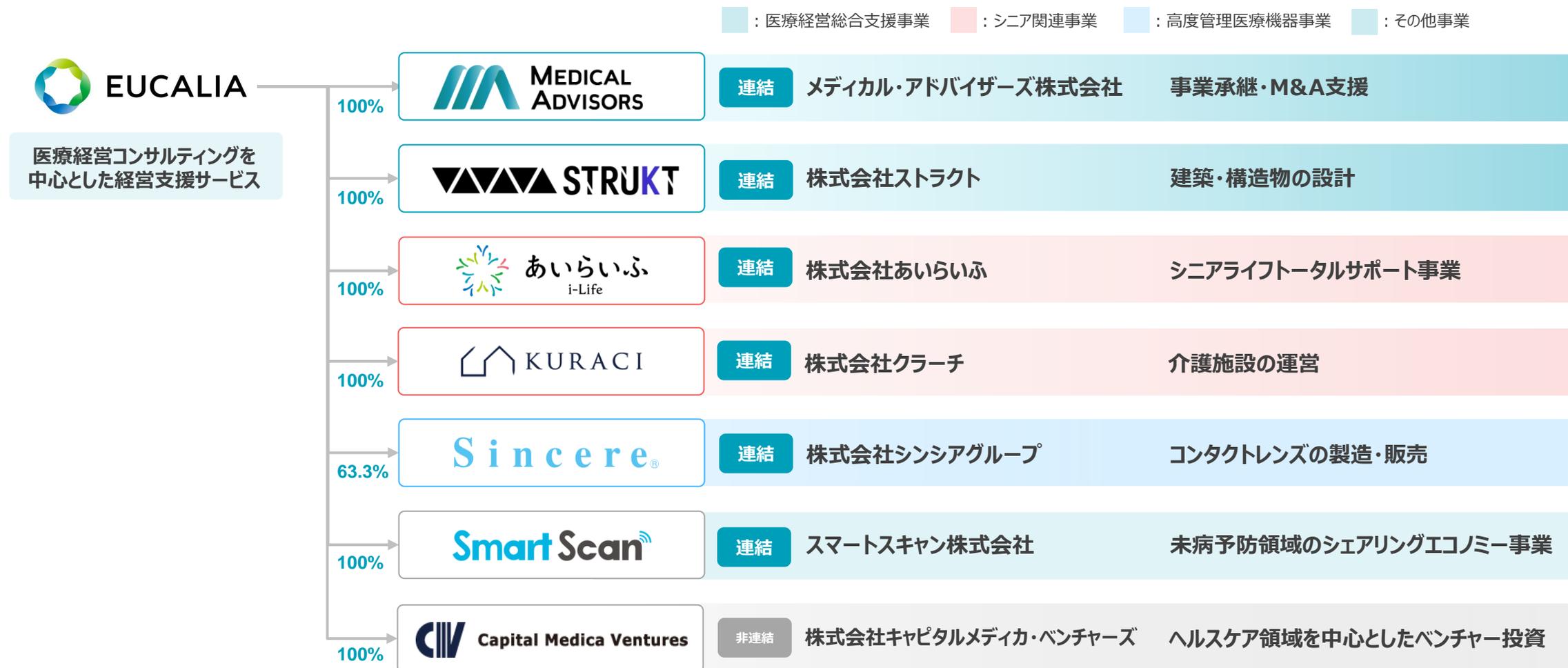
ユカリアグループ沿革¹

祖業である病院経営サポート事業を軸に、新規事業開発やM&Aを組み合わせることで成長を実現



(注釈) 1. 沿革をイメージいただきやすくする為、一部割愛しているサービスがございます。
 2. 病院経営サポートは提携医療法人に対する提供サービスの総称となります。メディカルアドバイザーズ社による事業承継・M&A支援やストラクト社による建築・構造物の企画設計、提携外の医療法人へのサービス提供は含まれておりません。
 3. 本スライドグラフは売上高を示すものではなく、業容の拡大をイメージとして表現したものです

▶ 主要なグループ会社一覧^{1,2}



(注釈) 1. 主要な関係会社のみを記載しております。記載以外に連結子会社5社、非連結子会社3社（投資事業有限責任組合1社含む）、持分法非適用関連会社5社（関連会社3社、投資事業有限責任組合2社）を保有
 2. 2025年2月時点。スマートスキャン株式会社は、2025/12期より連結を開始

▶ ユカリアグループ経営体制



代表取締役会長
古川 淳
FURUKAWA Jun

株式会社ユカリア創業者。公認会計士。
1997年に中央監査法人に入所。
2005年に当社設立。



代表取締役社長
三沢 英生
MISAWA Hideo

1998年にゴールドマン・サックス証券株式会社に入社。株式会社ドーム常務取締役を経て、2020年に当社入社。
東京大学アメリカンフットボール部 監督



取締役
西村 祥一
NISHIMURA Yoshikazu

救急科専門医、麻酔科指導医、日本DMAT隊員。千葉大学医学部附属病院医員、横浜市立大学附属病院助教を経て、2018年に当社入社。



社外取締役/監査等委員
須藤 修司
SUTO Shuji

公認会計士。新日本有限責任監査法人(現 EY新日本有限責任監査法人)にてシニアパートナー、子会社代表取締役を歴任。



社外取締役/監査等委員
南江 恭一
NANYE Kyoichi

1960年に株式会社三和銀行(現 三菱UFJ銀行) 入行後、取締役、常務取締役を歴任。



社外取締役/監査等委員
杉山 文野
SUGIYAMA Fumino

NPO法人東京レインボープライド理事。LGBTQ+をはじめ多様性に関する様々な啓発活動を実施。渋谷区の同性パートナーシップ制度制定にも携わる。



執行役員
山田 和宏
YAMADA Kazuhiro

トランスコスモス株式会社 常務執行役員 CX事業総括 DX 推進本部 本部長 兼 デジタルカスタマーコミュニケーション総括 副責任者、株式会社Jストリーム取締役を経て、当社入社。



執行役員
阿部 克巳
ABE Katsumi

公認会計士。1997年に中央監査法人に入所。株式会社ダイヤモンドダイニング(現DDグループ) 取締役、共栄セキュリティーサービス取締役を経て、当社入社。



執行役員
山根 直樹
YAMANE Naoki

1988年に株式会社東海銀行(現三菱UFJ銀行)に入社。2006年に当社入社。以降、子会社代表取締役、資金管理本部長、プラットフォーム事業本部長等を歴任。



執行役員
高橋 典久
TAKAHASHI Norihisa

国際証券(現三菱UFJモルガン・スタンレー証券)株式会社、メリルリンチ日本証券ディレクター、株式会社ドーム社長室 Head of Strategyを経て、当社入社。

▶ 提携医療法人¹一覧 (2024年12月末時点)

近畿・中国地方

【兵庫県】

- ・医療法人浩生会 舞子台病院

【岡山県】

- ・医療法人 平野同仁会 総合病院 津山第一病院
- ・医療法人 平病院

【山口県】

- ・医療法人社団陽光会 光中央病院

九州・沖縄地方

【大分県】

- ・大分先端画像診断センター ※

【福岡県】

- ・医療法人秋桜会 新中間病院

【沖縄県】

- ・医療法人正清会 久田病院
- ・医療法人ユカリア沖縄 かな病院

※・・・病院以外の施設（診療所等）

(注釈) 1. 当社と医療法人の間でパートナーシップ契約または類する契約を締結している医療法人

北海道・東北地方

【北海道】

- ・社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院
- ・社会医療法人鳩仁会 あつた中央クリニック ※
- ・医療法人北仁会 石橋病院
- ・医療法人北仁会 旭山病院
- ・医療法人北仁会 幹メンタルクリニック ※
- ・医療法人社団 札幌道都病院
- ・医療法人 東札幌病院
- ・医療法人豊和会 新札幌豊和会病院
- ・医療法人社団函南会 あしりべつ病院

【宮城県】

- ・医療法人総志会 宗像靖彦クリニック ※

関東地方

【群馬県】

- ・医療法人社団善衆会 善衆会病院

【栃木県】

- ・社団医療法人弘全会 芳賀中央病院

【埼玉県】

- ・社会医療法人新青会 川口工業総合病院
- ・医療法人新青会 川口工業病院 乳腺外科診療所 ※
- ・医療法人ユーカリ 武蔵野総合病院
- ・医療法人刀圭会 本川越病院
- ・医療法人社団白桜会 新しらおか病院
- ・医療法人 安東病院

【千葉県】

- ・医療法人社団愛信会 佐倉中央病院

【東京都】

- ・医療法人社団玲瓏会 金町中央病院
- ・医療法人社団天紀会 こころのホスピタル町田
- ・メディカルチェックスタジオ東京銀座クリニック ※

【神奈川県】

- ・医療法人ユーカリ さがみ林間病院
- ・医療法人社団南浜会 鈴木病院

▶ 本資料の取り扱いについて

本プレゼンテーション資料は、株式会社ユカリア（以下「当社」といいます。）の会社情報の説明のみを目的として当社が作成したものであり、日本国、米国その他の一切の法域における有価証券の買付け又は売付け申し込みの勧誘を構成するものではありません。日本国、米国その他の法域において、適用法令に基づく登録若しくは届出又はこれらの免除を受けずに、当社の有価証券の募集又は販売を行うことはできません。

将来の事業内容や業績等に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、「目指す」、「予測する」、「想定する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「企図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」又は将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他の類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、本プレゼンテーション資料作成時点において入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいて作成しており、これらの記述の中には、様々なリスクや不確定要素が内在します。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の将来における事業内容や業績等が、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なることとなる可能性があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。



EUCALIA